

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（984））
2. 日時：平成30年5月25日 14時00分～15時20分
3. 場所：原子力規制庁 8階原子力規制企画課横会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

山口安全管理調査官、宮本主任安全審査官、伊藤安全審査官、角谷安全審査官
（技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門）

堀田統括技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 技術・安全グループマネージャー 他3名

5. 要旨

（1）日本原子力発電株式会社から、本日の提出資料を用いて、東海第二発電所の重大事故等対策の有効性評価のうち、溶融炉心・コンクリート相互作用（コリウムシールド高さ）について説明があった。

（2）原子力規制庁から、主に以下の点について指摘を行った。

- 粒子状デブリによる床ドレン配管等への影響について、床ドレン配管の形状やデブリと水との接触面積の考え方が伝熱条件としてどの様に考慮されているのか、評価方法を整理して提示すること。
- 粒子状デブリから発生する崩壊熱の除熱量とポロシティとの相関関係について整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 新規制基準への適合性に係る主な変更点について（コメント回答）
- ・溶融物量として考慮するペDESTAL内構造物の設定について